

第一 怒江方面ノ戦闘

其一 滇緬公路方面

一 拉孟、龍陵方面ニ於テハ、五月中旬頃迄ハ敗殘部隊
カ三々伍々我カ捕捉網ヲ掠メテ遁走スルニ過キサリシ方
五月十九日惠通橋東方地區ニ於テ我カ將校弁候ハ
一部ノ敵ト交戦之ヲ撃退セリ。此ノ際捕獲セル敵
四名ニ就キテ調査セルニ右ハ第三十六師補充團ノ一部
(約二〇〇)ニシテ土民ヲ徵傭シ筏ヲ以テ怒江ヲ渡河
對岸ニ逃走セントシアリシコト判明セリ。次テ二十日龍
陵南方十料附近ニテ新編第二十二師ニ屬スル約
三〇〇ノ敵ヲ發見之ヲ包圍急襲シテ全滅セシムルノ
戦果ヲ得更ニ二十二日ニ至リ鎮安街附近ニ於テ討
伐隊ハ約五〇ノ敵ヲ撃退スル等敵ノ蠢動狀況漸
ク活氣ヲ呈スルノ兆アリシカ二十四日早朝ニ至リ俄然敵
ハ攻勢ヲトリ拉孟、鎮安街、盤昌街、龍陵等ニ於テ

0009

夫々戦闘ヲ開始スルニ至リ
而シテ諸報告及諸情報ニ依リ龍陵一拉孟間ニ現
出セル敵ハ新ニ怒江ヲ渡河シ進入セル相當有カナルモノ
ニシテ頑強ニ抵抗ヲ持續シアルモノト判断セリ依テ二十
四日二四〇〇平井部隊ニ配属中ノ戦車一中隊及輕
装甲車一中隊ヲシテ速カニ龍陵ニ前進セシメ坂口部隊
長ノ指揮下ニ入ラシムル如ク處置セリ
ニ五月二十五日二四〇〇別紙作命甲第一二〇號ヲ下達シテ
怒江方面ノ攻撃ヲ準備ス即チ松本部隊ノ先遣セル
浦野大隊ヲ以テ別紙作命甲第一二四號ニ基クコナン
カンニ警備部隊ノ任務ニ服サシメ前警備部隊タリシ沖
大隊ヲ主力ニ追及前進セシメ又浦野大隊ヲ輸送セシ
車輛ヲ轉用シテコセンウイニ在ル久米大隊ヲ龍陵ニ
輸送スル如ク處置シタリ而シテ久米大隊ハ二十七日龍
陵ニ到着セリ

0010

茲ニ於テ五月二十六日一三〇。別紙作命甲第一二二號
ヲ下達シ怒江以西ニ進出セシ敵ヲ一擧ニ撃手滅セントシ
司令部亦戦闘指導ノ爲ニ二十七日龍陵ニ前進セリ
三、是ヨリ先怒江方面ニ兵力集結ノ結果トシテ「センウイ
及「ラシオ」地區ニ於ケル捕捉網ノ壓力ノ薄弱化スルヲ
恐レ之ニ對シ軍ニ諒解ヲ求ムル所アリシカ軍ハコレヲ快
諾セラレシヲ以テ五月二十六日「ラシオ」警備隊長ヲシテ該
隊ニ配屬中ノ歩兵中隊ヲ原所屬ニ復皈セシメ之ヲ怒江
方面ニ轉用セリ

四、斯クテ兵力ノ集結完了ス依テ先ツ騰越檄欖寨方
面ハ暫ク現状ヲ保持セシメ主力ヲ以テ先ツ龍陵拉
孟方面ノ敵ヲ撃手滅スルニ決シ集結セル兵力(約九中隊
ヲ以テ二十八日ヨリ)拉孟附近ニ驅集セル敵第三十六師
ヲ撃手滅シ次テ龍陵猛昌街附近山地ニ存在ス豫期スル
第八十八師ヲ撃手滅セントシ騰越ニ取敢ヘス歩兵一中隊

0011

ヲ急派増援ス

又「ナンカン」ニ集結スヘク命シアリシ松本部隊ノ主力ヲ芒
市ニ集結セシメ其ノ配屬中ノ野戰重砲兵第三聯隊
第二大隊主力ヲ龍陵ニ派遣シ龍陵警戒備隊長指
揮下ニ入ラシメタリ

同時ニ二十一日以來「モンコ」ニ派遣中ナリシ歩兵一中隊ハ同
地方面ノ狀況緩和セルヲ以テ之ヲ撤去原所屬ニ復皈セ
シム而シテ二十八日ヨリ開始セラレヘギ攻撃手ハ龍陵警戒備
隊長直接之ヲ指揮スルニ依リ林參謀ヲ該隊司令部
ニ配屬ス尚「ラシオ」警戒備隊長ヲ通シテ同地ニアル飛行隊
ニ協力方ヲ依頼セシム

五、軍ヨリハ作戰ニ関スル打合せノ爲五月二十八日一五〇〇寺倉
參謀ヲ派遣セラル依テ當時ノ狀況ヲ説明スルト共ニ師
團ノ希望事項ヲ関陳セリ

0012

六、五月二十九日林作命甲第二〇二號ニ依リ新ニ藤村支隊(歩兵三大隊、山砲天隊)及獨立野戰重砲兵第三十二大隊ノ一中隊ヲ指揮下ニ入ラシメラレル

依テ同日一九〇〇別紙作命甲第一二八號ヲ下達シ藤村支隊ノ龍陵進出ヲ處置スルト共ニ野戰重砲兵第三十二大隊ノ一中隊ハコクシロン方面ノ壓力ヲ強化スルタメニセンウイ警備隊長ノ指揮下ニ入ラシメタリ

七、五月二十九日ニ於ケル松井部隊ノ攻撃ヲ部署左ノ如シ

1. 歩一大(二中) 盤昌街(龍陵東方約二〇料) 夾子地(盤

昌街東南十料) 紅木樹道方面ヨリ

2. 歩一大(一中半) 鎮安街(盤昌街東方八料) 芹菜塘(鎮安街

東方七料) 小水路(鎮安街東南十五料) 山頭

寨(小水路東北八料) 椅子山道方面ヨリ

如江ニ向セ

3. 歩一大(三中) 長岑崗(鎮安街東方十料) 連廠(長岑

0013

崗東南七料(大石頭(惠通橋東南七料))

方面ヨリ怒江ニ向ヒ

八五月二十九日二四〇〇ニ於ケル敵情判断左ノ如シ

(一) 雲南豫備第二師及第三六師ハ拉孟北方二十料附近ヨリ渡河シ拉孟北側地區ニ進出

(二) 第八八師ハ拉孟南方十料及二十料附近ヨリ渡河シ各一團ヲ以テ拉孟南側地區猛昌街南側地區ニ

進出

(三) 騰越方面ハ雲南第六師ニシテ雲南豫備第二師ノ存在ハ不明或ハ橄欖寨ノ敵カ該師ナリヤト考アルモ未タ確證ヲ得ス

又作戰ニ協力中ノ飛行隊ニ二十九日二三〇〇次ノ如ク依頼セリ

(一) 松井部隊ハ本朝來敵ヲ攻撃中ニシテ正午頃一部ハ約一〇〇ノ敵ヲ撃破シ猛昌街東方十料麥子地附近

0014

主力ハ拉孟東南四料、沙子坡及連廠附近ニ進出セリ
(二)此ノ方面敵ノ退路ハ惠通橋南方約十料、筏橋及
二十料南方栗樹坪附近ト判断ス

飛行隊ハ特ニ栗樹坪附近ノ退路遮断ヲ願ヒ度
又同時迄ニ得々得々狀況ヲ次々如ク軍報報告セリ

(一)龍陵及盤昌街南側ノ敵(約二團)ハ二十四日以来
ノ我カ攻撃ニ依リ既ニ戦力ヲ失ヒ各南方五乃至十料
ノ山地ニ萎縮シアリ(明三十日ヨリ松本部隊ヲ合シ
掃蕩ノ豫定)

拉孟南側ノ敵ハ目下掃蕩中ニシテ近ク潰乱スル
モノト判断ス同地北側ノ敵ハ昨二十八日迄ハ執拗ニ
反攻セシモ我カ軍要點ヲ占領スルニ及ヒ守勢トナレリ
(二)本二十九日迄ニ判明セル戦果

遺棄死体 約四四〇
鹵獲品 迫撃砲三 重機一 輕機六 其他

0015

(三) 我カ損害

戦死二一(内將校四) 負傷八三

九、藤村支隊ハ三十日午後ニ至リ逐次龍陵ニ到着セリノ

茲ニ於テ該隊ノ攻撃部署ニ関シ別紙作命甲第

一三〇號ヲ五月三十日一八二〇龍陵ニ於テ下達ス

十、龍陵一騰越道ノ改修作業ハ五月二十三日以來師團

工兵隊ニ於テ實施中ナルモ兵力並ニ地形上進捗セス

依テ松本部隊ニ配属中ノ渡河材料中隊主カラ龍陵警

備隊長ノ指揮下ニ入ラシメ師團工兵隊ニ配属セシムル如ク

處置セリ

拉孟附近戦闘經過要圖其一

附圖第三

同 其二

附圖第四

鎮安街益昌街附近戦闘要圖

附圖第五

龍陵附近戦闘要圖

附圖第六

ノ如シ

本旬間敵機ハ屢々我カ警備地區内ニ來襲セリ
 細部左表ノ如シ

五三九		五三八		五三七		五二六		五二五		五二四		五二三		月日
17.00 18.00	11.00	17.00	16.50	19.00	18.50	17.50	17.40	17.00 18.00	18.00	17.50	17.30	16.00	夕	刻時
拉孟		檳榔寨	龍陵	檳榔寨	龍陵	芒市	龍陵	拉孟	芒市	晚町	拉孟			地名
小型 ニ	大型 一三	魚爆 七	フオ カリ 三	重爆 三	ブレ ン ム 三	重爆 四三	輕爆 二	小重 型 六五	輕爆 三 三	輕爆 二	ト ホ ク ニ	ト ホ ク 四	七	機種及機数
		爆 撃 及 掃 射 二 〇 ヶ		爆 撃 三 明	五 〇 ヶ 五	一 〇 ヶ 五	一 〇 ヶ 十 教 習		小 三 〇 ヶ 四 一	大 小 教 個	小 型 一	小 型 六	小 型 教 彈	彈藥及彈数
セ ス		セ ス		集 中 平	水 平	集 中 下		集 中 平	水 平					投下法
			ナ シ				(一) 五	二 二	ナ シ		一 七	ナ シ	ナ シ	我 方 損 害
上 空 飛 來			中 射 撃 受 テ 飛 去		友 軍 機 飛 去 後 三 分 後 中 一 應 射 ス		友 軍 機 三 追 尾 セ リ	上 空 飛 來			友 軍 機 三 追 尾 中 一 應 射 退		一 機 撃 墜	捕 要

0017

其ノニ騰越方面

一、騰越附近ノ戦闘

一、騰越附近ニ於テハ五月二十日以來騰越城ノ奪回ヲ企圖セル
モノ如ク屢々我カ陣地前ニ偵察ヲ試ミ或ハ又我カ斥候搜索
隊ニ妨害ヲ加ヘタリ即チ二十二日一三〇我カ將校斥候ハ娘
娘廟部落附近ニ於テ輕機ヲ有スル數十ノ敵ト交戦之ヲ
撃手退ス

二、五月二十三日夜半ニ至リ敵ハ攻撃企圖ヲ放棄シ二四〇頃退
却ヲ開始セリ部隊ハ直チニ追撃ニ轉移セルモ兵力及携行
彈藥ノ關係上大ナル戦果ヲ收メ得ス敵ハ依然四周ノ諸要
點ヲ占領シ我カ狀況ヲ窺知セントス 二十五日頃ニ至リ其
行動稍々消極的トナリ小部隊ヲ以テ我カ陣地ヲ偵察
スル程度トナリ然レトモ騰越南方五料和順郷ニハ約二〇
ノ敵アリ敵アリ 檄攪寨ニ増派セル
又二十五日丸岡大隊ハ騰越北方約八料ノ地點ニ於テ陣地ヲ

0018

占領セル約二(三)百ノ敵ト交戦是ト對峙スルニ至レリ依テ二十七日瓦旬ヨリ歸還セル金氏大隊ヲ之ニ協力セシメ敵ヲ東北方ニ潰走セシメタリ丸岡部隊ハ直チニ橄欖寨ニ向ヒ突進ヲ開始シ金氏大隊ハ反轉シテ和順郷附近ノ掃蕩ヲ開始セリ

三、是ヨリ先五月二十三日一九〇〇騰越部隊ニ彈藥電池等輸送ノ爲龍陵ヲ出發セシ中町少尉以下二十八名ハ下盤連ニ於テ迫撃砲二、重機二、輕機三、擲彈筒三ヲ有スル優勢ナル敵ト交戦シ將校以下二十六名ノ戦死傷者ハ戦死一六、戦傷一〇(内將校二)ヲ生セリ

由ツテ龍陵ヨリ歩兵一中隊速射砲一中隊ヲ以テ馱馬二十五頭ニ彈藥ヲ携行シテ二十七日正午急派セシメ更ニ龍陵警備隊長ノ指揮下ニアリシ久米大隊ヲシテ六月一日〇九〇〇龍陵ヲ出發セシメ袴田參謀之ト同行セリ

騰越附近戰鬪要圖 附圖第七ノ如シ

0019

ニ瓦旬北方地區ノ掃蕩

一五月十八日金氏大隊ノ第八中隊ハ瓦旬北方四料地
莫ニ於テ約五〇〇ノ敵ト交戦中 依テ該敵ヲ捕捉
殲滅スヘク同日一五〇ノ騰越ヲ出發急追セシム

大隊ハ十九日一九三〇ノ瓦旬北方ニ於テ第八中隊ヲ掌手握
ス當時中隊當面ノ敵ハ既ニ北方ニ退却ヲ開始セ
ルヲ以テ大隊ハ二三〇ノ追撃ニ轉移ス

第八中隊ノ交戦セル敵ハ騰越守備隊第五營及
退却中ノ雜兵ニテ敵ノ遺棄死体約六〇我カ損害
戦死三ナリ

二部隊ハ二十日一二〇〇ノ界頭(騰越北方一〇〇料)ニ達シ更
ニ北上スル敵ヲ追撃シテ蠻仍(騰越北々東約一五〇
料、怒江右岸)渡河點ニ急進ス 途中ヲチヤオトウ
及「ユウレイ」山中ニ於テ各約一〇名蠻仍渡河莫
ニ於テ約三〇名ノ敵守備隊ヲ撃手滅ス我カ損害

0020

戦傷一

五月二十四日〇六〇〇部隊ハ歸還ノ途ニ就キ強行軍ヲ
續行シテ二十六日ニニ〇〇騰越北方十五軒ニ達ス爾
後丸岡部隊ト共ニ騰越周辺ノ敵ヲ攻撃掃蕩
シ三十一日一八〇〇騰越ニ取還セリ

本行動間ニ於ケル戦果

遺棄死体

約一〇〇

俘虜三一

鹵獲品

小銃七、拳銃一一、彈藥若干

騰越北方地區戦闘要圖附圖第八ノ如シ

三、橄欖寨附近ノ戦闘

一、五月十六日橄欖寨ニ於テ追撃砲ヲ有スル約二百ノ
敵ヲ攻撃セルモ十七日ヨリ新ナル敵約百攻撃シ來レ
リトノ報告ニ接セルノミニテ其ノ後ノ状況不明ナルヲ以テ
騰越部隊ヨリ威ルハク多クノ兵カヲ増援セシムル如ク

セリ
處置スル所アリシカニ二十四日ニ至リ左ノ情報ヲ入手

山口部隊當面ノ敵ハ十七日ヨリ三三ノ嶺橄欖寨ヲ
夜襲シ其ノ兵力ハ迫撃砲ヲ有セル五(六)百ニ増
加セリ^二而シテ其ノ一部ハ山口部隊ノ背後ニ迂
回シ十八、十九ノ兩日晝夜ニ亘リ攻勢ヲシ来ルモ山
口部隊ハ橄欖寨附近ヲ堅固ニ占領シ該敵ヲ
撃手退セリ

本戦闘ニ於ケル

我カ損害

戦死ニ
戦傷四

敵ハ更ニ二十三日拂曉ヨリ迫撃砲ノ集中射撃
ヲ以テ來攻セルモ之ヲ撃手退ス

依テ五六師作命甲第一二四號ニ依ル松本大隊ヲ
松井部隊ト交代後成ルヘク速カニ騰越ニ派遣シ

0022

同地敬言備隊長ノ指揮下ニ入ラズ騰越及老寨
附近ノ敵ヲ撃手破スル如ク是處置

ニ是ヨリ先今岡部隊ヨリ派遣セラレテ増援隊(止少

一小及MG一小)ハ十九日橄欖寨西方約十軒ノ高地ニ

於テ背後ニ迂回セントスル敵ト遭遇對峙セルモ山口部

隊ト協力之ヲ撃手退シ二十一日〇五〇〇橄欖寨ニ到着

セリ

本戦闘ニ於ケル我カ損害戦死一輕傷ニニレテ當

面ノ敵ハ龍江橋右岸ノ兩側台地ニ陣地ヲ構築シ

附近ノ部落ニ集結セルモノ如ク依然我ト對峙セリ

騰越ヨリハ更ニ丸岡大隊ノ全兵カヲ増派シタルニ該隊

ハ騰越東方約八軒附近ニ陣地ヲ占領セル約二(三)百

ノ敵ト遭遇シ交戦對峙スルニ至レリ

騰越ヨリハ更ニ瓦旬ヨリ飯還ス(キ)金氏大隊ノ到着ヲ

待ツテ直チニ丸岡大隊ニ協力セシメ二十七日ニ至リ丸岡大

0023

隊ハ當面ノ敵ヲ撃破シテ東北方ニ潰走セシメ次テ
檄攪寨方面ノ敵ヲ追撃シテ二十九日一四〇〇同地附近ノ
敵陣地ヲ突破シテ山口部隊トノ連絡ヲ完ウセリ
本戦闘ニ於ケル戦果左ノ如シ

遺棄死体 二〇〇

鹵獲 品

チエツコ銃 五、小銃 一〇、擲彈筒 二、
水冷式重機 一、彈藥多數

我方損害

戦死四（内將校二）

戦傷二二（大部ハ迫撃砲彈ニ依ル輕傷）

三、此ノ攻撃ヲニ於テ敵ハ龍川江右岸ノ線ニ退却セルモ
主力ハ依然檄攪寨東方高地ニ在リテ抵抗セリ
其ノ兵力約一千ニシテ迫撃砲二門ヲ有ス
尚敵ハ二十八日重爆撃機三、二十九日爆撃機七ヲ
以テ我方陣地ヲ爆撃シ並掃射ヲナセルモ我ニ損
害ナシ

0024

四、右ノ如ク騰越 檄欖寨方面ノ狀況ハ依然樂觀
ヲ許ササルモノアリ 依テ五月三十日龍陵警備隊
長ノ指揮下ニテリシ久米大隊ヲ騰越ニ轉進セシム
ル如ク是處置セリ

檄欖寨附近戰鬥要圖 附圖第九ノ如シ

0025